

・化学工場I社様 排水処理、洗浄設備

約3週間に渡って実機試験を行い、「流量調整槽からの臭気対策」「曝気槽自体の曝気不足改善による処理能力向上」「膜表面に付着した有機物の分解による目詰まりの解消」など多くの実証結果が得られた。その実証データや写真をご紹介します
マイクロナノバブル設置前

	原水		処理場出口	バッキ槽		河川放流口
	pH	COD	COD	SS	濾過時間(秒)	COD
	管理値	管理値 2000mg/L以下	管理値 30mg/L以下	管理値	管理値	協定値 20mg/L以下
10月1週目	8.48	957.87	52.16	9463	28	4.97
10月2週目	6.33	613.84	16.85	9680	20	1.20
10月3週目	6.23	767.30	13.29	9088	18	1.23
10月4週目	7.96	874.62	15.85	9720	22	2.17
10月5週目	6.8	774.8	22.07	10063	24	3.06
平均	7.15	792.83	23.34	9611	22	2.45



マイクロナノバブル設置後

	原水		処理場出口	バッキ槽		河川放流口
	pH	COD	COD	SS	濾過時間(秒)	COD
	管理値	管理値 2000mg/L以下	管理値 30mg/L以下	管理値	管理値	協定値 20mg/L以下
11月1週目	7.67	679.53	13.17	9825	23	3.03
11月2週目	8.05	896.68	12.44	9840	19	1.22
11月3週目	8.45	1048.14	11.03	10663	17	0.60
平均	7.98	827.48	12.75	100093	20	1.50

事例写真



流量調整槽をマンホールから撮影した様子



マイクロナノバブル設置時に浸漬していない部分は、表面の汚れが目立っています。



マイクロナノバブル設置時に浸漬していない部分は、表面の汚れが目立っています。
水没部の汚れ具合は上記露出部と大差が無い状態でした。